

会 議 録

会議の名称	第9期第3回小金井市行財政改革市民会議		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成30年5月22日（火）午後6時00分～午後7時58分		
開催場所	市役所本庁舎第1会議室		
出席者	委員	天野巡一会長、藤田昌一職務代理者、馬場利明委員、 杉山均委員、大塚信委員、芳須浩彰委員、吉田晶子委員	
	事務局	第1副市長 上原秀則、企画財政部長 天野健司、企画政策課長 梅原啓太郎、行政経営担当課長 堤直規、市民課長 高橋弘樹、市民税課長 秋元良夫、ごみ対策課長 小野朗、図書館長 菊池幸子、公民館長 西村直邦、 企画政策係主事 兼堀義信	
欠席者	加藤良重委員、松井大平委員、八木尚子委員		
傍聴の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
会議次第	別紙1のとおり		
会議要旨	別紙2のとおり		
提出資料	資料1 アクションプラン2020進行管理シート（平成29年度分）抜粋 資料2 平成30年度改善改革運動の試行について（たたき台）		

別紙 1

小金井市行財政改革市民会議（第3回）次第

日時 平成30年5月22日（火）  
午後6時00分から  
場所 本庁舎第一会議室

- 1 各課からの状況説明等（18:05～19:35）
  
- 2 アクションプラン2020の進行管理（平成30年度分）について（19:35～19:45）
  
- 3 改善改革運動の取組について（19:45～19:55）
  
- 4 その他（19:55～20:00）

※ 配布資料

- 資料1 アクションプラン2020進行管理シート（平成29年度分）抜粋
- 資料2 平成30年度改善改革運動の試行について（たたき台）

## 別紙 2

### 第 3 回小金井市行財政改革市民会議 会議録

(午後 6 時 0 0 分開会)

- 会長 これより第 3 回小金井市行財政改革市民会議を開会する。
- 事務局 定数 10 人中 7 人が出席となり、会議の定足数を満たしている。なお、平成 30 年 4 月から非常勤化に伴って事務局の体制が変更となったので報告する。

#### 1 各課からの状況説明等

##### 【企画政策課】

- 会長 会議の時間的制約等を考慮して、各課から市民会議に参加するのは、課長のみとし、時間も 1 課当たり 15 分とする。時間配分は課長からの説明が 3 分、委員からの質疑・意見が 10 分、会長総括が 2 分程度とする。  
まず、企画政策課である。企画政策課長から寄付金の募集強化の取組状況と今後の見通しについて、説明をお願いします。
- 企画政策課長 寄付金の募集強化について、本市でも平成 28 年度の寄付額 27 万円に対し、他団体の寄付による控除額は 2.1 億円と大きく上回る状況となっている。多摩 26 市中 20 市が民間ポータルサイトを活用していることもあり、本市でも活用して一定の対策を取る。現在は、事業者選定を進めており、年末に寄付が集中することから 10 月からポータルサイトの利用を開始する予定である。
- 会長 おおむね状況が理解できた。質問等はあるか。
- 馬場委員 具体的な返礼品を決めるスケジュールは。
- 企画政策課長 5 月終わりから 6 月初旬を目途に事業者選定を行い、その後速やかに返礼品に選定する作業を開始したい。
- 芳須委員 ポータルサイトの利用にかかる費用は。
- 企画政策課長 歳出予算額は 54 万円である。返礼品やサイトの掲載料などの事務手数料を想定している。
- 芳須委員 どのような返礼品を見込んでいるのか。
- 企画政策課長 現時点では具体的な検討はしていないが、市内事業者を開拓していきたいと考えている。
- 芳須委員 返礼品の調査が先ではないか。市内に何があるかわからないと返礼品が選定できないのではないか。

- 企画政策課長    いくつか考えているものはある。
- 芳須委員        取組が遅いのでは。返礼品が一番肝心ではないのか。
- 会長              企画政策課だけの問題ではない。地場産業をどう育成するか。また、歴史的なものや観光をどうPRするか。企画政策課主導で全庁的に取り組んでいただきたい。
- 大塚委員        農業体験やはけの森美術館等も考えられないか。発想を変えないと自治体間競争に勝てないのではないのか。
- 企画政策課長    返礼品に体験型のものがあるのも聞いている。それを踏まえて検討したい。
- 藤田委員        他市で真似したい事例はあるか。
- 企画政策課長    地場産のものを使用した返礼品の事例があり、ニーズはあるのではないかと考えている。
- 吉田委員        返礼品の選定について何が課題か。
- 企画政策課長    現時点では特にない。
- 馬場委員        全国的には墓地の清掃をするという事例もある。例えば多磨霊園の清掃などはどうか。他市にはない魅力的な取組を進めてもらいたい。
- 会長              平成28年度の寄附実績の分析はしているのか。
- 企画政策課長    特にしていない。
- 会長              転出者にどうPRするか考えてほしい。今まで寄付をさせていただいている中にヒントがある。特に、観光・商業振興の観点からも取り組んでいただきたい。

**【市民課】**

- 会長              市民課長から説明をお願いします。
- 高橋課長        アクションプラン2020では、平成29年度上半期に課内検討、平成29年度下半期に庁内検討、平成30年度に準備、平成31年度上半期に実施と位置付けている。市民課窓口では、マイナンバーカード等の事務量が増加したことにより、窓口が混雑しやすい状況にある。業務委託により職員は困難ケース等に集中できるようになる。委託業者には徹底したマニュアル化等により市民サービス向上が図れる。今後の予定として平成30年度は事業者選定を、平成31年度は業務委託を実施していく。
- 芳須委員        窓口業務委託をなぜ今頃になっているのか。取組が遅いことについてどう考えるのか。
- 会長              近隣市での委託状況はどうなっているか。法令関係について

はどのように分析しているか。

- 高橋課長 内部事務の委託は本市では初めてのため、労働者派遣法違反にならないよう慎重に検討してきたところである。他市の状況としては、多摩26市中13市が業務委託を実施している。
- 会長 市政センター長だった経験からは、1時間に12件以上を1人の職員が受け付けていたらすごく忙しい。1時間に何人受付を目標としているのか。また、このような発想で分析の実施をしてほしい。
- 藤田委員 分析がなければプロポーザルの仕様書も書けないのではないか。
- 大塚委員 これまで他市が委託してきて、本市が委託できなかった理由は何か。
- 事務局 以前は非常勤化による人件費削減を進めてきた経過がある。現在は、市民サービス向上の観点から窓口業務委託を進めっていると理解している。

#### 【市民税課】

- 会長 市民税課長から説明をお願いします。
- 市民税課長 職場協議では、職員自ら進めることが大事だと考え、その意見をまとめた。非常勤化を進めつつ、類似団体の分析を進めたいと考えた。
- 藤田委員 平成29年度の調査結果はオープンになっているか。調査結果として何がわかったか。
- 市民税課長 都市税協の調査内容に基づき他市の状況を検討した。類似団体を確認する状況ではない。
- 藤田委員 都市税協の調査結果を読んだだけと思える。それを調査と言えるのか。
- 市民税課長 現在の状況はそれにとどまっている。課長会で東久留米市にいくつかの点で話をしているが担当者レベルでは実施していない。
- 大塚委員 それはいつからやるのか。
- 市民税課長 現在は繁忙期で困難なため、7月以降となる見込みである。
- 大塚委員 7月にはできるのか。
- 市民税課長 相手側の状況もある。
- 藤田委員 検討スケジュールを作成することは、検討課題として出ている。
- 芳須委員 当初納通発送後にすぐ動けない理由は何か。やる気がないか

- らではないのか。
- 藤田委員 相手のせいになっているが、市民会議がうるさいと言って調査したらよいではないか。
- 馬場委員 検討スケジュールがこんなに長いのはおかしい。
- 会長 市民税課と資産税課を一つの課にする考えはないのか。
- 市民税課長 一般的に一つの課で実施している自治体があることは理解している。
- 会長 課税課の方が多だろう。一つの課にすればそれで課長職1人削減できる。委託費も含めた費用対効果を検討すべきだ。統一的な制度でコンピュータ化していて類団差が出るのは理解しがたい。そこを説明してほしい。
- 市民税課長 本市は東久留米市より納税者数が7500人多い。給与支払報告書は約2万件多い。年金支払いも小金井市の方が多い。
- 会長 それは特定の時期だけではないのか。繁忙期をどう乗り切ったらいいのか課長として考えてみてほしい。

#### 【ごみ対策課】

- 会長 ごみ対策課長から説明をお願いします。
- ごみ対策課長 平成32年度の実施を目指し、現在、各係で課題等の洗い出しを行っている。
- 藤田委員 実施までに時間がかかるのはなぜか。
- ごみ対策課長 平成32年度には浅川のごみ処理施設が稼働するので、それまでは広域支援を継続し、ごみの減量・資源化を進めていくためである。
- 芳須委員 分室業務の在り方が問題ではないのか。
- ごみ対策課長 分室に12名の職員がおり、分別指導、ふれあい収集、生ごみ堆肥化の回収を行なっている。今後、分室業務の見直しを進めていく。浅川稼働後、ごみ非常事態宣言解消後のことを含めて、検討している。
- 分室職員は転入者への分別促進のために、現場に出向いて指導していく必要がある。
- 芳須委員 転入時に啓発を行なうべきではないのか。
- ごみ対策課長 繁忙期の市民課では難しい。来庁者がイライラしてしまう。
- 会長 そうした業務を委託できないのか。
- ごみ対策課長 ごみゼロ化推進員にも検討していただいている。
- 大塚委員 転入手続きの方の待ち時間に説明すればイライラしないのではないか。

- ごみ対策課長 試行させていただいたが、非情に難しかった。転入者対策は重要だと考えており、ご意見を踏まえて進めていきたい。
- 藤田委員 評価の理由に類団とあるが、具体的にどこの類似団体か。
- ごみ対策課長 東久留米市を指している。
- 藤田委員 類似団体は他にもあるので、東久留米市以外についても調査してほしい。
- 会長 中央線沿線で比較すべきである。減量は何グラムとするのかなど、具体的な目標を持って取り組んでほしい。
- 事務局 東久留米市との比較は、行財政改革プラン2020での基本ポイントである。そこを踏まえた上で中央線沿線を意識してほしいということによろしいか。
- 会長 類団差整理は平成32年度まで待たず、前倒しして取り組んでいただきたい。

#### 【図書館】

- 会長 では、図書館長からの説明をお願いします。
- 図書館長 図書館は、取組④で図書館業務委託を取組項目に挙げている。平成29年3月末に図書館協議会に諮問していた今後の図書館の在り方について答申をいただいた。本館（中央図書館）の基幹業務は専従職員で行うべき。開館時間の延長や窓口業務は委託職員を活用するなど公と民の調和が取れた形態が良い。分室はNPO委託などバランスと取れた運営形態が望ましいといった内容であった。  
 答申を受けて、今後、図書館の在り方をお示しすることになるが、本市の後期基本計画に合わせる形で、平成32年度までの中期的な方向性を考えていく。その中で、業務委託拡大が可能かどうかを含めてお示しする予定である。図書館協議会と協議しながら進めていく。課題としては、業務委託を拡大するメリットを市民満足度向上にどれだけ活かせるかということになる。市民要望の多い開館日の増、開館時間の延長、司書資格者の確保など図書館サービスの拡大は委託館では実施し、利用者からは一定の評価を得ている。  
 これに加え、委託を拡大することによる市民メリットがあるのか図書館内部で検討している。
- 会長 では、質問等はあるか。
- 馬場委員 委託されたことによるデメリットは何か。
- 図書館長 市民アンケートの結果からもメリットの方が大きいと考え

ている。開館日は多く、開館時間も長い。その分スタッフのシフトが厳しいと聞いているが、それでも休暇は取れているので順調に運営していると認識している。

- 会長                   どこに委託をしているのか。
- 図書館長               NPOの市民の図書館公民館小金井というところに貫井北分室と東分館を委託している。
- 会長                   図書館は全体で何館あり、直営は残り何館か。
- 図書館長               5館あるうちの直営は本館、緑分室と、図書室の3館が残っている。
- 会長                   本館から委託を始めるべきではないのか。そうしない理由は何か。
- 図書館長               貫井北分室が平成26年4月から開館し、開館当初から委託している。その後、委託の評価が良かったこともあり、東分館を委託した。本館は施設的に老朽化しており、ネットワークの中心なので委託は難しい。
- 藤田委員               それでは本館はいつまでも委託しないのか。
- 図書館長               市民が利用しやすいようになれば直営でも委託でも構わないと考えている。しかし、図書館の諸課題解決のためには、今はまだ直営の職員が必要である。
- 大塚委員               緑分館は委託する予定はあるのか。
- 図書館長               東分室の委託後に、図書館全体の運営形態について考えるべきという意見が市議会からあった。運営形態についても答申をいただいたので、それを踏まえて検討したい。
- 大塚委員               早ければ今年度中に委託するのか。
- 図書館長               なかなかそこまでは難しい。委託によるメリットと合わせて開始時期を検討したい。
- 緑分室は、貫井北分室、東分室と同じように公民館と複合施設となっている。その関係もあり、調整が必要だと思う。
- 大塚委員               公民館と一体の委託にするのか。
- 図書館長               今までは公民館と一体的に委託したほうが相乗効果が出ると説明してきた。緑分館もその方向で考える必要がある。
- 芳須委員               図書館協議会に諮問した内容は。
- 図書館長               諮問事項は「小金井市の図書館の在り方」についてであり、図書館の必要な機能、必要な施設規模等、運営形態について諮問し、あと中央図書館についても検討していただいた。
- 会長                   どのような戦略を持って運営形態を考えているのか。図書館

はまの顔であり、文化である。どうして委託なのか、どうして直営なのかを示していただきたい。

武蔵野市の武蔵野プレイスでは、学生や子育て世代が増え、あの地域だけで2千人も人口が増えた。全国の図書館で最も有名なのが浦安市である。浦安市の図書館を視察してもらいたい。

○藤田委員

決断と実行が何も書いていない。早いところ決断して、実行していただきたい。

○会長

武蔵野プレイスは夜10時まで開館している。誰のためといえば市民のため、文化都市のためにやっている。小金井市も文化都市を目指そう。

### 【公民館】

○会長

最後に、公民館長から説明をお願いします。

○公民館長

現在、2つの分館を委託化している。将来的な公民館の在り方を検討するために、平成29年7月に公民館運営審議会から答申を受け、中長期計画の策定の中で検討していく。9月末までに委託の可否を含めて方向性を出す予定だ。緑分館は図書館との複合施設、南分館は児童館との複合施設のため、両課との調整を進めたい。公民館の有料化についても、同じく中長期計画策定の中で検討し、9月末までに方向性を出していく。

○芳須委員

公民館の稼働率とその内訳はどうか。

○公民館長

平均稼働率は65%となっている。

○芳須委員

市民利用と主催事業の内訳は。

○公民館長

手元に資料がないためわからない。感覚的には主催事業は半分いかないのではないかと。

○芳須委員

基本的な数字は把握していないといけない。主催事業が少ないならば、貸館事業が中心なのではないかと考えられる。市の職員が市民を教育する時代ではないのではないかと。

○公民館長

そうした将来像を検討したい。

○芳須委員

公民館を廃止するという方向性を考える状況ではないのか。

○会長

公民館・コミュニティセンター論争がある。武蔵野市は公民館でなく、コミュニティセンターであり、市の職員は一人もいない。どのような形にするか、市民参加で検討し、市長の責任において進めるべきであると考え。そのような大きな検討をしていただきたい。

現在、職員は何人いるのか。

○公民館長

13人。

○会長                    その職員を福祉等の部署に回していこう。コミュニティセンターは相当な抵抗を受けるが、成功すれば先進事例になる。その覚悟でやっていただきたい。

2    アクションプラン2020の進行管理（平成30年度分）について

3    改善改革運動の取組について

○会長                    議題2と議題3は一括で取り扱う。事務局から説明をお願いする。

○事務局                （資料1及び資料2の説明を行った。）

○会長                    それではご意見があれば挙手の上、発言願いたい。

○大塚委員              進捗チェックに関して、ヒアリングの回数が足りないのではないか。全部の部署を実施するかは置いておいて、どの部署をチェックするか検討すべきではないか。

○会長                    私個人としては、何回もキャッチボールをする必要を感じている。文書で出してもらい質問を返す。その上でどの課をヒアリングするか検討するというように論点を明確にして進めるようにしたい。

○芳須委員              いつまでにするのか期限を区切るべきだ。

○事務局                期限については事務局でも検討するので、会長と相談させてほしい。

○藤田委員              ヒアリングを実施しない課も資料でやり取りするのか。

○事務局                必要ならそのように検討したい。

○藤田委員              課内検討の結果等を出してほしい。

4    その他

○会長                    その他、連絡事項等があれば願います。

○事務局                次回の日程については、後日調整して連絡する。

○上原副市長            本日の市民会議で各課長もいろいろ刺激を受けたと思う。行財政改革がいい方向に進めばいいと思う。

○会長                    これで本日の会議は終了とする。

（午後7時58分閉会）